

## 令和3年度高知県高等学校体育大会

### 相撲専門部 新型コロナウイルス感染拡大防止対策ガイドライン

本専門部の主管大会における新型コロナウイルス感染対策を下記の通り定める。

#### 1 感染防止対策の概要

##### (1) 全般的な事項

- ①実施専門部は、感染防止のために実施すべき事項や参加者が厳守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所（大会の受付場所等）に掲示すること。
- ②実施専門部は各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認すること。
- ③参加校のエントリー選手・帯同部員（補助員）・引率者・監督・外部指導者等（以下「大会参加者」という）は、【様式1-①②】高体連主催大会参加 体温・体調チェック記録票〈教員・指導者・生徒〉を各競技大会2週間前から大会参加終了日までチェックし、大会初日には【様式2-①】高体連主催大会における大会前の健康状況等確認についてと【様式1-①②】の写しを大会本部に提出すること。また、大会日毎に【様式2-②】高体連主催大会における大会期間中の健康状況等確認についてを大会本部へ提出すること。万が一感染者が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、【様式1-①②】の原本について、保存期間（1月以上）を定めて保存しておくこと。
- ④実施専門部は、万が一感染が発生した場合に備え、個人情報に十分注意しながら、大会参加者から提出された【様式2-①②】の原本および【様式1-①②】の写しについて、保存期間（1月以上）を定めて保存しておくこと。
- ⑤大会役員等は【様式1-③】高体連主催大会参加 体温・体調チェック記録票〈大会役員等〉（個人書式）を大会終了日までチェックし、保存期間（1月以上）を定めて保存しておくこと。なお、チェック期間に体調不良等が生じた場合には競技担当者へ連絡を取り参加の可否について確認すること。また大会終了後2週間以内に体調不良が見られた場合には、実施専門部へ報告すること。
- ⑥参加校及び実施専門部は参加者に陽性者・濃厚接触者が確認された場合、保健所や医療機関の指示に従うこと。
- ⑦参加校は大会終了後も【様式1-⑤⑥】高体連主催大会参加後 体温・体調チェック記録票〈教員・指導者・生徒〉を用い、2週間に渡りチェックを継続し、大会終了後1月以上保存すること。

また、大会終了後2週間以内に陽性者・濃厚接触者・接触者が発生した場合には、実施専門部に対して速やかに報告すること。実施専門部は報告を受けた場合には、保健所や医療機関の指示に従うこと。

- ⑧取材や写真撮影を希望する団体は事前に実施専門部へ連絡するとともに【様式1-④】高体連主催大会参加 体温・体調チェック記録票（取材団体等）をダウンロードし、各競技大会2週間前から大会参加終了日までチェックすること。大会当日は各競技受付へ【様式1-④】提示し、参加者名簿へ必要事項を記入したのち入場すること。大会終了後2週間以内に体調不良が見られた場合には、実施専門部へ報告すること。

### 【様式取扱一覧】

[高知県高等学校体育連盟 HP <http://www.kochinet.ed.jp/kochi-htaiiku/>] より DR 可

様式	作成者	内容	保存場所	保存期間
【様式1-①②】	参加校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2週間体調チェックし作成</li> <li>・大会期間中もチェックする</li> <li>・求めがあれば提出</li> </ul>	各校顧問	大会終了後1月以上
【様式1-③】	大会役員等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2週間体調チェックし作成</li> <li>・大会期間中もチェックする</li> <li>・求めがあれば提出</li> </ul>	作成者	
【様式1-④】	取材や写真撮影を希望する団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2週間体調チェックし作成</li> <li>・会場受付にて提示</li> <li>・大会期間中もチェックする</li> <li>・求めがあれば提出</li> </ul>	作成者	
【様式1-⑤⑥】	参加校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会後2週間体調チェックし作成</li> <li>・求めがあれば提出</li> </ul>	各校顧問	
【様式2-①】	参加校 (学校長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会前2週間の健康チェック内容を学校長が確認し、公印を押印し作成</li> <li>・大会当日に顧問が大会本部へ【様式1-①②】の写しを添えて提出</li> </ul>	専門部	
【様式2-②】	参加校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会日毎に作成</li> <li>・大会参加を自粛するものがある場合は所属長および実施専門部へ状況を報告</li> <li>・大会本部へ提出</li> </ul>	専門部	

※【様式2-①②】は提出がない場合、原則試合への出場が認められないので各校顧問は注意すること。

### (2) 当日の参加受付時の留意事項

実施専門部は、大会当日の受付時に参加者が密になることへの防止や、安全に大会を開催・実施するため、以下に配慮して受付事務を行うこと。

- ①受付には、手指消毒剤を設置すること。
- ②参加者が距離をおいて並べるように目印の設置等を行うこと。
- ③受付を行うスタッフにはマスクを着用させること。
- ④人と人とが対面する場所は、経費面を考慮して、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽すること。
- ⑤発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように、貼紙などにより注意を促すこと。
- ⑥新型コロナウイルス接触確認アプリ等の通知サービスを積極的に活用すること。

### (3) 大会参加者への対応

#### ①体調の確認

実施専門部は大会参加者に以下の事項が記載された【様式1-①②】高体連主催大会参加 体温・体調チェック記録票〈教員・指導者・生徒〉を各競技大会2週間前から大会参加終了日までチェックさせ、学校ごとに【様式2-①】高体連主催大会における大会前の健康状況等確認についてと【様式1-①②】の写しを提出させること。

また、【様式2-②】高体連主催大会における大会期間中の健康状況等確認についても大会日毎に大会本部へ提出させること。

提出に関しては個人情報の取り扱いに十分注意し、引率責任者（顧問教諭等）が提出すること。

#### ●大会当日の体温

#### ●大会前2週間における以下の事項の有無

- ア 平熱を超える発熱はないか
- イ 咳、咽頭痛など風邪の症状はないか
- ウ だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）はないか
- エ 嗅覚や味覚の異常はないか
- オ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触はないか
- カ 同居家族や身近な知人で感染が疑われる方はないか
- キ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がないか

※参加校は当日の参加について、大会参加前2週間の健康観察状況（上記ア～キ）と当日の状況から適切に判断し、安全・安心の確保を最優先考え決めること。

※各中央競技団体ガイドラインにて大会参加の判断基準が定められている場合はその基準を尊重し、「[競技別の感染症拡大防止対策ガイドライン](#)」へ明記すること。

#### ②マスクの準備

引率責任者（顧問教諭等）は、大会参加者がマスクを準備しているか確認すると同時に、着用についても徹底指導すること。なお、競技中のマスクの着用は大会参加者等の判断によるもの（※）とするものの、参加の受付、着替え、表彰式等、競技を行っていない間、特に会話するときには、マスクを着用すること。

※マスクを着用して競技を行った場合、十分な呼吸ができず人体に悪影響を及ぼす可能性があることに留意するとともに、適宜周知すること。

### ③大会参加前後の留意事項

大会参加者は、大会前後のミーティング等においても、3つの密を避けること、会話時にマスクを着用すること、黙食など感染対策に十分配慮すること。

## (4) 実施専門部が準備すべき事項

### ①手洗い場所

実施専門部は、大会参加者が大会開催・実施の間に手洗いをこまめに行えるよう、以下に配慮して手洗い場所を確保すること。

- ア 手洗い場には石鹼（ポンプ型が望ましい）を用意すること
- イ 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
- ウ 手洗い後に手を拭くため、参加者にはマイタオルを持参させること
- エ 手洗いが難しい場合には、アルコール等の手指消毒剤を用意すること
- オ ジェットタオルは稼働を停止すること

### ②更衣室、休憩・待機スペース

更衣室、休憩・待機スペースは感染リスクが比較的高いと考えられることに留意すること。実施専門部は更衣室や、一時的に休息するための休憩スペース、参加者等が参加前の確認を受ける待機スペース（招集場所）について以下に配慮して準備すること。

- ア 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密となることを避けること
- イ ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に滞在する人数を制限する等の措置を講じること
- ウ 室内又はスペース内で複数の参加者が振れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカー等の取手、テーブル、イス等）については、可能な限り消毒すること。
- エ 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮すること。

### ③洗面所（トイレ）

洗面所（トイレ）についても感染リスクが比較的高いと考えられることに留意すること。実施専門部は、洗面所（トイレ）について、以下に配慮して管理すること。

- ア トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、可能な限り消毒すること。
- イ トイレのふたを閉めて汚物を流すよう表示すること
- ウ 手洗い場には石鹼（ポンプ型が望ましい）を用意すること
- エ 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
- オ 手洗い後に手を拭くため、参加者にはマイタオルを持参させること
- カ ジェットタオルは稼働を停止すること

④ 飲食等について

実施専門部は、参加者が飲食等をする際は、以下に配慮すること。

- ア 参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう呼び掛けること。
- イ 飲料については、ペットボトル・ビン・缶や使い捨ての紙コップを使用し、共用はしないこと
- ウ 飲食物を取り扱うスタッフには必ずマスクを着用させること

⑤ 観客について

ア 有観客および無観客等の判断について

安全・安心の確保を最優先事項とし、判断する。判断の際には下表「令和3年度第74回高知県高等学校体育大会に係る観戦について」を用いる。

**本年度県体については令和3年5月6日付け3高知高体連  
第11号「令和3年度第74回高知県高等学校体育大会に係る観客の取り扱い等について（通知）」で参加校へ通知した  
とおり、全競技無観客で開催する。**

令和3年度第74回高知県高等学校体育大会に係る観戦について（*高知県内の感染拡大状況によって延期及び中止する場合がある。）				
県のステージ	学校や観戦者（保護者等）に お断りする点	各競技専門部が行うこと	観戦者の入場の可否について	
			エントリ外への部活動生徒	保護者等
緊急事態			禁止	禁止
特別警戒				
警戒	<p><b>【健康確認】</b> ○観戦希望者は学校（顧問や校内担当教員等）より指定様式1-③を受け取り、観戦予定日2週間前～観戦最終日まで体温・体調等を記録する ↓ ○観戦希望者は様式1-③を観戦最終日より1月保管し、主催者等からの求めに応じて提出できるようにする ↓ ○顧問又は学校担当教員は主管専門部が示した運用方法を確認し（許可証や一覧表等）来場の手続きを進める</p> <p>○COCOA（アプリ）のインストール ・陽性者が発生した場合、スマホに連絡が来るようになるため、インストールを推奨する ・COCOA（アプリ）のインストールが「済」でない方、又はスマホをお持ちでない方は、会場で陽性者が発生した場合に、許可証に付随していた観戦予定者申請書をもとに学校から連絡することがある</p>	<p>○入退場ゲートの設置 ・入場者（許可された方）の確認 ・検温（人員配置し検温を行う） ※県のステージが「注意」または「感染観察」の場合、検温は来場者によるセルフ形式でも可 ・消毒液、マスクの準備</p> <p>○観戦するエリアを設定する ・大会運営エリアと観戦エリアの区別 ・観戦者の座席数（収容人数）の把握 …等</p> <p>○会場内の管理 ・観戦者が密にならないようアナウンス等、適宜注意を促す ・観戦方法の周知徹底（大声での声援禁止等） ・収容人数の調整 …等</p>	<p>○高体連及び各競技団体が示す感染防止対策基本方針およびガイドラインに基づいて、2週間の検温などを行い体調の不良が無いことを確認しうえて入場することができる</p>	<p>○観戦者の受入対応が可能な競技は可 ○選手と観戦者とが密にならない会場は可 【具体】 ・屋外会場で観客席がある場合 ・屋内会場でも試合場と観客席が一定以上の距離が取れる場合…等 ※状況によって入場できる観客数を制限する場合があります</p> <p>○観戦が不可の会場もある 【競技会場日程一覧参照】 【具体】 ・会場の座席数が少ない場合や、観戦エリアが設定できない場合 ・運営上、専門部が入退場ゲートに人員配置ができない場合…等 ※県のステージが「注意」または「感染観察」の場合、検温は来場者によるセルフ形式でも可</p>
注意	<p>○入場時の検温 ○入退場時の手指消毒 ○マスク着用 ○大声での声援は禁止</p>			
感染観察	<p>○応援する選手・チームの試合が終わりしだい、会場を退出すること（会場内を最少人数に止める）</p> <p>○会場内での飲食は禁止</p> <p>○一般生徒の観戦が認められた競技会場で観戦する場合は、生徒であることが分かるよう制服で観戦する …等</p>			
		<p>（イベントの開催制限） 高知県対策本部会議 人数上限→会場収容定員の50%以内 （R3.4月末まで）</p>	<p>（一般生徒および一般観客の観戦について） 新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえ、安心・安全な大会運営を第一に検討を重ねた結果、本年度高知県高等学校体育大会においては、保護者等のみの観戦受け入れとする。</p>	

感染症に対する県の対応（ステージ）をもとに、競技ごとに観客の取り扱いについて協議し、県高体連事務局まで報告する。

なお、全競技において統一判断を行うような場合には、事前に各専門部へ連絡するとともに、県高体連事務局および県教育委員会主管課より加盟校へ周知徹底を行う。

イ 観客にお願いすること・専門部が行うこと等

別紙「令和3年度第74回高知県高等学校体育大会に係る観戦について」  
および「競技別の感染症拡大防止対策ガイドライン」参照

⑥大会会場

大会を室内で実施する場合には、換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行うこと。

具体的には、換気設備を適切に運転することや、定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと。

⑦ゴミの管理

参加者にゴミを持ち帰ることを義務付けるとともに、その内容を周知すること。

(5) 大会参加者の留意点

①十分な距離の確保

競技の種類に関わらず、競技をしていない間も含め感染予防の観点から、なるべく距離を空ける（感染予防の観点より1~2m程度）。運動強度が高い競技の場合は呼気が激しくなるため、より一層距離を空ける必要がある。

②その他

ア 競技中に唾や痰を吐かないこと

イ タオルの共用はしないこと

ウ 飲食については、指定場所で行い静かにしゃべらず黙食すること

エ 飲みきれなかった飲料等を指定場所以外に流さないこと

(6) その他の留意事項

①宿泊に関しては、宿泊施設関連の業界団体が定める最新の「宿泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン」に従うこと

②バス移動に関しては、「貸し切りバスにおける新型コロナウイルス対応ガイドライン」に従うこと

③「競技別の感染症拡大防止対策ガイドライン」については、各中央競技団体や令和3年度全国高等学校総合体育大会高校総体に向け全国各専門部が競技特性に応じ作成した最新のガイドラインを参考に実施専門部ごとで作成すること。

## 2 競技運営上の感染対策留意事項

### 日本相撲連盟ガイドライン

「相撲における競技会再開ガイドライン」 (令和2年7月15日改訂)

公益財団法人日本相撲連盟競技委員会

本ガイドラインは、「相撲におけるスポーツ活動再開ガイドライン」第4段階を終了後、競技会を開催する際のガイドラインで、新型コロナウイルス感染防止等の留意点を示すものです。

政府・自治体の方針、地域の感染状況など十分考慮の上、安全に競技会を開催してください。

#### 【競技会開催準備】

##### 1) 会場選定

- ①密集対策として参加者(選手・役員)が、最低1mの間隔を保つことができる施設を選定する。
- ②応援者・観客については、最低1mの間隔を保てるよう入場を制限する。
- ③周囲の人と十分な間隔が保てない場合は、無観客で行う。

##### 2) 大会要項等の作成

- ①本ガイドラインを基に会場の実態等に合わせた「留意事項」を作成し、要項に明記する(別紙可)。また、「留意事項」は、大会プログラムに掲載し、徹底を図る。
- ②「留意事項」を順守できない場合は、出場させない旨を明記する。
- ③準備委員会で競技時間の短縮に向けた検討を行い、感染リスクの低下を図る。

##### 3) 会場設営

- ①感染防止に関する注意事項を適切な場所に掲示し、周知を図る。
- ②入場者が密集しないよう区域割を行い、人の流れが向き合わない動線を示す。
- ③適切な場所に、手洗い場所、アルコール消毒場所を設置する。
- ④複数の参加者が触れると考えられる場所(トイレ、支度部屋を含む。)の消毒、控室等の換気を定期的 to 実施する計画を作成する。
- ⑤東西の土俵溜では、選手・副審の距離を可能な限り保つ。

### 【健康確認】

1)主催者は、参加者(選手・役員・監督・コーチ)に対し、当日の体温の他、競技会前2週間における以下の事項の有無について情報提出を求める。

- ・平熱を超える発熱(おおむね37度5分以上)
  - ・咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状
  - ・だるさ(倦怠(けんたい)感)、息苦しさ(呼吸困難)
  - ・嗅覚や味覚の異常
  - ・体が重く感じる事、疲れやすい事等
  - ・新型コロナウイルス感染症陽性と判定された者との濃厚接触の有無・同居家族や身近な知人に感染が疑われる者がいる事
  - ・過去14日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある事
- 2)主催者は、参加者のうち当日の体温が平熱を超えるものや、1)の各事項について該当するものに対し、参加の見合わせを求める。

2)主催者は、応援者・観客に対しても、1)の各事項に該当する場合は、入場の見合わせを求める。

### 【当日受付】

- 1) 窓口に手指消毒液を配備する。
- 2) 人と人が対面する場所には、アクリル板、透明ビニールカーテン等を設置する。
- 3) 受付スタッフはマスクを着用し、筆記用具は個人専用のものを使用する。
- 4) 入場者に対し、マスクの着用を求める。
- 5) 待機列が発生する場所に距離を置いて並べるよう立ち位置を示し、誘導整理する。
- 6) 健康確認を行う者を別途配置し、【健康確認】1)の各事項について該当する体調不良者(発熱、咳、咽頭痛等)の入場を制限する。

### 【参加者の行動】

- 1) 競技時以外は、マスクを着用し、こまめに手洗い(30秒以上)、手指消毒を行う。  
また、真正面での会話は避ける。
- 2) 会場では、常に密集、密接、密閉を避けるように心掛ける。
- 3) タオル、うがい用の水(ペットボトル等を持参)は、自分専用のもを使用し、排水は定められた場所で行う。
- 4) 出場選手は、取組前後には、手指、顔面、胸、肩等の消毒に適した消毒薬やアルコールティッシュなどで自分の体表面を清拭し、清潔を保つ。



- 5) 参加者同士の大声での声援、指示、指導は禁止とし、競技時以外は、決められた場所で周囲の者と十分な距離を保って観戦する。
- 6) 主審以外の審判は、競技中もマスクを着用する。
- 7) 主審は、飛沫拡散を配慮し、通常より1歩程度後ろで動作を行う。
- 8) 主審の判定に異議・疑義が生じた場合、審判員は、マスク着用の上、隣の審判員と通常より若干の距離を取って協議を行う。
- 9) 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に速やかに報告する。

#### 【監督・コーチ等の行動】

- 1) 競技に関する指導だけでなく、「三密」を避ける行動、衛生保持についての指導も行う。
- 2) 作戦指導・指示等は、控えに入る前に済ませ、その後の大声での指導・指示・応援は行わない。
- 3) 真正面からの指導・指示は避ける。
- 4) 感染した場合に備えて、所属の応援者等関係者の「入場届」を作成し、受付に提出する。(終了から4週間後に廃棄)

#### 【応援者・観客の管理】

- 1) 体調不良者の入場は認めない。
- 2) マスクを着用していない者の入場は認めない。
- 3) 決められた場所で、周囲の者と十分な距離を保つよう求める。
- 4) こまめに手洗い、手指消毒等を行うよう求める。
- 5) 大声での声援は禁止とし、会話を控えることを周知する。
- 6) 上記の事項について、順守できない者は退場を求める。

#### 【主催者の対応】

- 1) 主催者は、新型コロナウイルス感染症対策の「会場責任者」を複数名指名し、大会会場内の「感染防止策」の徹底に努めさせる。
- 2) 「会場責任者」は、事前に立案された消毒、換気等の計画に基づいて、本ガイドラインが定める留意事項が順守されているか、巡回・確認する。
- 3) 役員及び「会場責任者」は、感染予防に反する行為を見かけた場合は口頭注意し、大会本部に報告する。是正されない場合は、退場を命ずる。

- 4) 開会式、閉会式は原則行わず、開会式 閉会宣言のみを放送で行うことが望ましい。
- 5) 表彰式は、以下のとおり行うことが望ましい。
  - ・表彰者はマスクと白手袋を着用し、選手はマスクを着用する。
  - ・団体戦の受賞団体は、代表者1名が出席し、賞状・メダルのみを授与される。

#### 【その他】

- 1) 飲食は指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにする。飲みきれなかった飲料は、中身をカラにしたうえで指定場所に捨てる。
- 2) トイレの使用については、会場の規則を順守し、使用後は30秒以上の手洗いと自分専用のタオルで手を拭く。
- 3) ごみの廃棄は以下のとおり行い、廃棄については会場の規則に従う。
  - ・鼻水、唾液などがついたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用する。
  - ・マスクや手袋を外した後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指等を消毒する。
- 4) 感染予防に必要な消毒液、消毒用アルコールティッシュ、石鹸等は、できる限り各自が確保・準備する。
- 5) 参加者等から収集した個人情報については、責任を持って管理し、4週間後に廃棄する。
- 6) このガイドラインに定めるもの以外の問題が生じた際は、(公財)日本相撲連盟競技会規程に規定する各委員会で協議して決定する。

以上、日本相撲連盟「相撲における競技会再開ガイドライン」に基づき本大会を実施する。  
本大会は無観客で開催する。